

青葉の公式取り出しのアルゴリズムを考えていきたいです。

1. 意味ネットワークとネットワークノードの属性管理について
ボートが川を下るという意味情報は次のようになります。

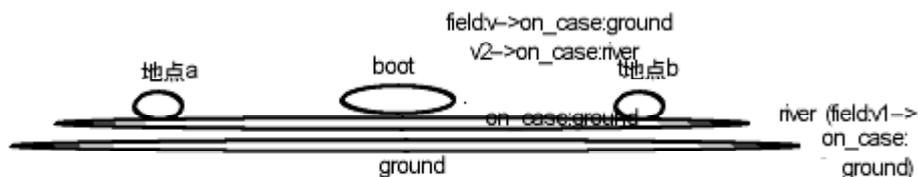


図 1 . ボートが動くというイメージ

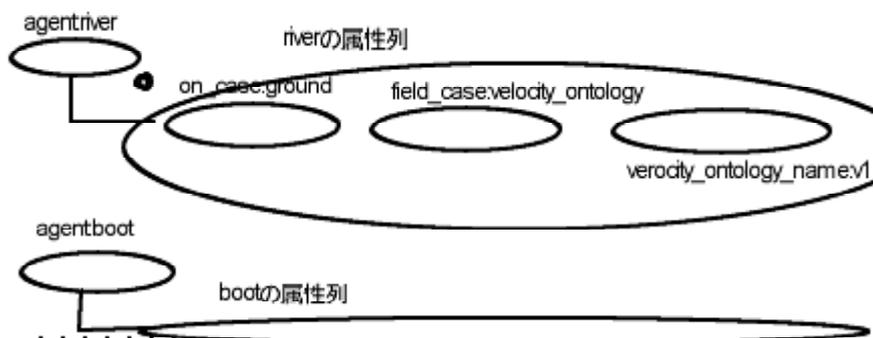


図 2 . ノードの属性管理リスト

2. 公式の知識の管理について

意味ネットワークから公式を得るための知識をまとめて管理します。基本的に意味ネットワークの管理と同じです。

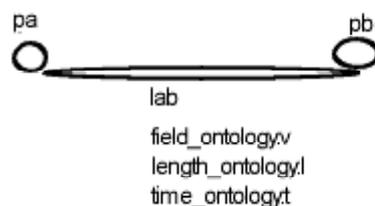


図3. 公式知識の意味ネットワーク

トVtの公式 これ1つの知識で1つのObjedeREferentSentenceオブジェクトを構成する。

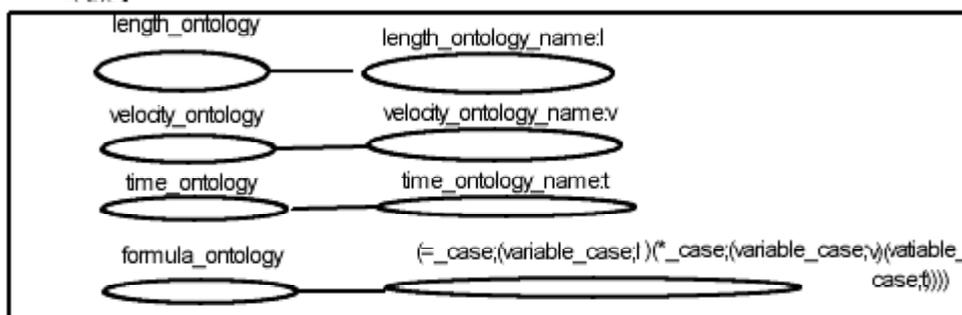


図4. 公式知識の属性管理リスト

3. 公式検索のアルゴリズム

命題：地点 a と b の距離 L を求めよ。

「距離」のオントロジー (length_ontology) から、図1で、地点 a と地点 b の長さが L であることが言えます。公式の知識にも同じようなイメージ図があって、対応が取れます。それは、意味ネットワークの ontology の配置に寄ります。この知識の公式ネットワーク図の管理名 (owner オブジェクト) は公式知識の属性管理リストの管理名 (owner オブジェクト) ですから、ここで、公式を取り出せます。それが持っている変数 (varinable_case) と ontology から実際の題意の変数とすりあわせることができ、立式は完成します。

おわり